

# 令和4年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

## 第5学年

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
国語	<p>○家庭学習や学習中のノートなどは丁寧に書く児童が多い。だが、自分の思いや考えを表す際に筋道立てた文章を書くことには苦手意識が強い。</p> <p>○漢字テストは多くの児童が高い正答率で書くことができる。だが普段のノートやワークシートで既習の漢字を用いていない場合が多い。また、はねやはらいなど漢字の細かな部分の定着が浅いことがある。</p>	<p>○思いついたまま書く文章ではなく、事実と自分の思いを区別して、構成を考えて文章が書けるようにする。</p> <p>○既習の漢字や新出漢字がより正確に定着し、日常の様々な場面で用いることができるようにする。</p>	<p>○スピーチや発言の際に、構成に気を付けた児童の発表を評価し、他の児童にもやり方を指導し促していく。</p> <p>○新出漢字を指導する際には、関連する漢字や熟語、漢字の部首一つ一つに着目して指導するなど、児童が漢字の不思議さ、面白さを感じるようにする。</p> <p>○正確な漢字を継続して書いている児童を紹介して認めるとともに、徹底した反復学習を続けていく。</p>		
社会	<p>○どの単元にも関心が高く、新しいことを知りたいと学習に意欲的に取り組む児童が多い。</p> <p>○学習内容について意欲的に調べられるが、自分の生活との関連は薄い。</p>	<p>○基礎的な資料を効果的に読み取り、様々な課題について気付き、考えることができるようにする。</p> <p>○産業の特色について自分たちとの生活と関連させながら理解できるようにする。</p>	<p>○資料の提示から学習課題を探す際は、多くの児童の意見を出させ、児童がまとまりを考えながら課題を作成できるように板書を工夫する。</p> <p>○教科書の資料だけでなく、家族へのインタビューや実際の商品をもとにした調べ学習など身の回りのものから解決へとつながっていく学習を推進する。</p>		

算数	<p>○四則演算は意欲的に取り組む児童が多く、発展的な問題にも積極的に挑戦する。だが、見直しすれば気付けるようなケアレスミスをしてしまう児童が多い。</p> <p>○算数科全体に対して、個人差が激しい。</p>	<p>○小さなミスを無くそうと確実に見直しをしながら、計算や量の測定などに正確に取り組むことができるようにする。</p> <p>○既習事項は確実に取り組むことができるようにする。</p>	<p>○テストが時間より早く終わった児童も、時間までは確実に見直しに取り組むよう徹底させ、見直しの習慣をつけるようにする。</p> <p>○問題に出てくる数字を取り出し、数字と数字の関係について、数直線や図、絵に表現して理解を深める。</p>		
理科	<p>○課題とされた自然事象について意欲的に調べようとするが、自然事象から自ら課題を見いだすことを苦手とする児童が多い。</p> <p>○実験器具の扱い方にまだ慣れていない。</p>	<p>○自然事象を調べる際に児童が的確に課題を捉え、比較・検討ができるようにする。</p> <p>○実験器具や教具を適切に扱えるようにする。</p>	<p>○条件制御を伴う実験を丁寧に押さえ、児童の観察や実験結果を提示し、共通点や相違点を話し合う時間を確保して授業を行う。</p> <p>○実験や観察で用いる器具については、機能や仕組みを丁寧に指導し、グループ内で振り返りを行う場面を設定する。</p>		
体育	<p>○用具やゲームの準備は進んでできる児童が多い。だが、自己の技能について振り返り、工夫しながら上達を目指そうとする意欲がやや低い児童がいる。</p> <p>○ゲームについては意欲的に取り組み、主体的に話し合いながら作戦を考える児童が多い。</p>	<p>○課題について自ら考え、自己の能力の向上のために工夫ができるようにする。</p> <p>○主体的に考えられる児童とともに、苦手な児童も考えを発表できるようにする。</p>	<p>○チャレンジカードや振り返りカードなどを作成し、自己の課題について振り返り、努力する態度を認める場面を設定する。</p> <p>○チームでの話し合いを円滑に進めるために、作戦カードを作成する。振り返りの際に自己評価する場面を設ける。</p>		